

令和7年度 人間総合科学研究群 カウンセリング学位プログラム 入学試験問題

解答上の注意

1. この問題冊子は、表紙も含めて6頁、問題は3問あります。
2. 問題1、問題2、問題3ともに、所定の答案用紙を使用して下さい。
3. 更紙（何も印刷されていない紙）は下書き用です。
4. それぞれの答案用紙の所定の欄には、必ず、受験番号を記入して下さい。
5. ローマ字・算用数字は1マスに2文字記入して下さい。
その場合も、解答字数は1マスで1文字と数えます。
6. 解答し終わった答案用紙は裏返しにふせて、上から順に、問題1-1、問題1-2、
問題1-3、問題1-4、問題2、問題3となるように机の上に置いて下さい。その他の用紙は、
別にまとめて置いて下さい。
7. 配布された全ての用紙（問題冊子、答案用紙6枚、下書きの更紙1枚）は、一切、
室外に持ち出すことはできません。

問題 1

以下の7つの用語について、それぞれ100字～200字の範囲で説明しなさい。

- ① 自己中心性 (egocentrism)
- ② 帰無仮説と対立仮説 (null hypothesis and alternative hypothesis)
- ③ ドア・イン・ザ・フェイス・テクニック (door-in-the-face technique)
- ④ 宣言的記憶 (declarative memory)
- ⑤ 気質 (temperament)
- ⑥ 森田療法 (Morita therapy)
- ⑦ 集団浅慮 (group think)

問題2

以下の小論を読んで、次の問いに答えなさい。

1. 小論の内容を 200 字以内で要約しなさい。
2. 小論の内容を踏まえながら、恥の機能について、あなたの見解を具体的な例をあげて 400 字以内で述べなさい。

著作物にあたるため、この部分は公開できません。

著作物にあたるため、この部分は公開できません。

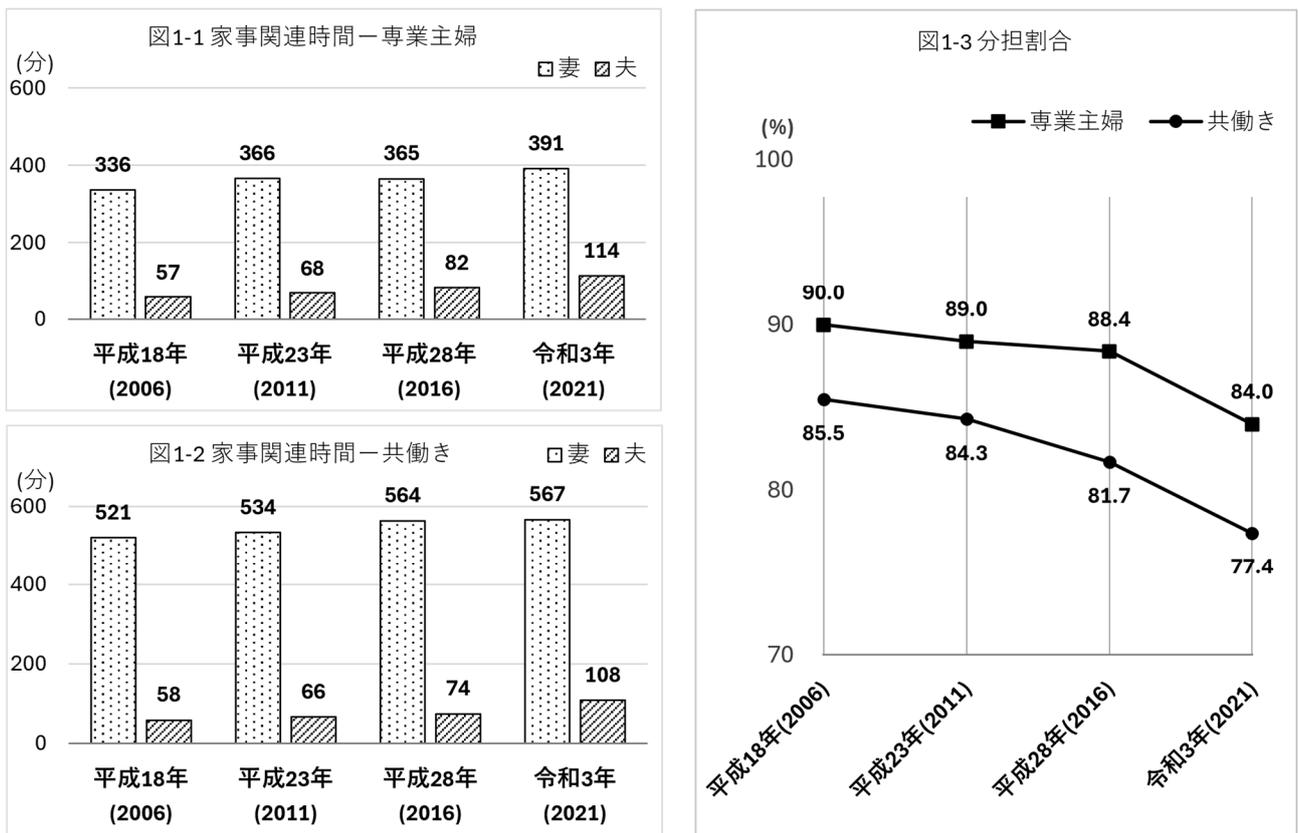
<出典 遠藤利彦 (2013) 「情の理」論 221-223 頁を一部改変>

問題3

以下の図1は、6歳未満の子どもを持つ妻・夫の家事関連時間及び妻の分担割合の推移（週全体平均）を示したものである。また、図2は、男女別にみた生活時間（週全体平均：1日あたり、国際比較）を示したものである。

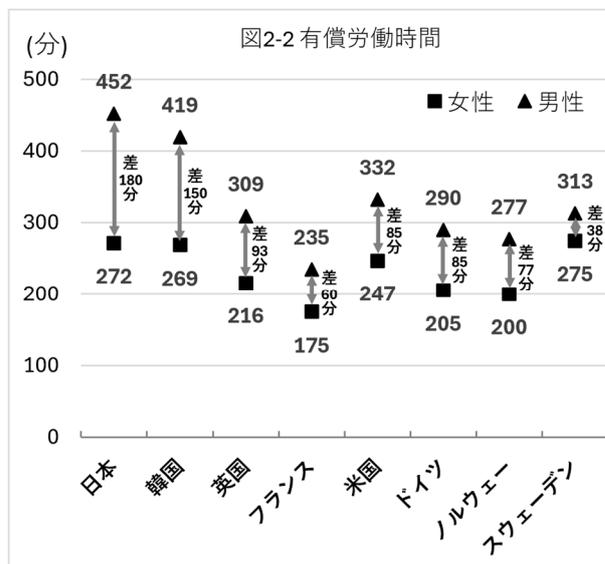
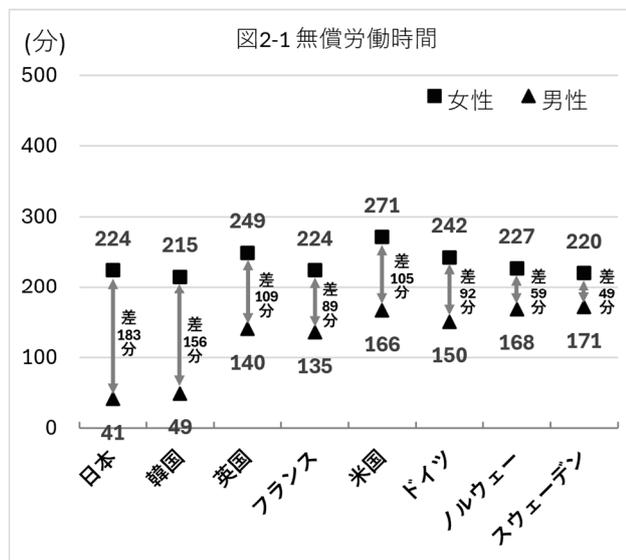
- これらの図から読み取れる、家事関連時間、分担割合および労働時間について300字以内で論じなさい。
- また、1.で指摘した点について、より詳細に分析するためには、他にどのような調査を行う必要があると考えるか。あなたが必要だと考える調査の方法や対象、項目などについて、300字以内で記述しなさい。

図1 6歳未満の子どもを持つ妻・夫の家事関連時間及び妻の分担割合の推移（週全体平均）



- (備考)
- 「専業主婦」は、夫が有業で妻が無業の世帯。「共働き」は、夫が有業で妻も有業（共働き）の世帯。
 - 「家事関連時間」は「家事」「介護・看護」「育児」及び「買い物」の合計。
 - 分担割合は、(妻の家事関連時間) / (妻と夫の家事関連時間の合計時間) × 100 で算出。

図2 無償労働時間と有償労働時間の状況（週全体平均）（1日当たり、国際比較）



- (備考)
1. 有償労働は「paid work or study」に該当する生活時間、無償労働は「unpaid work」に該当する生活時間。
 2. 「有償労働」は「有償労働（すべての仕事）」「通勤・通学」「授業や講義・学校での活動等」「調査・宿題」「求職活動」「その他の有償労働・学業関連行動」の時間の合計。「無償労働」は「日常の家事」「買い物」「世帯員のケア」「非世帯員のケア」「ボランティア活動」「家事関連活動のための移動」「その他の無償労働」の時間の合計。
 3. 日本は平成 28(2016)年、韓国は平成 26(2014)年、英国は平成 26(2014)年、フランスは平成 21(2009)年、米国は令和元(2019)年、ドイツは平成 24(2012)年、ノルウェーは平成 22(2014)年、スウェーデンは平成 22(2010)年の数値。

<出典 内閣府 (2023) 「令和 5 年度版男女共同参画白書」 14-15 頁を一部改変>